

浜松現地発!

沢朋之の「俺の話を聞け!」号外

GII ウィナーズカップ

10/6, 7, 8, 9, 10

観戦ガイド

木村武之
前回覇者!

鈴木圭一郎

今年も始まる!
遠州世代間闘争!

金子大輔

伊藤信夫

説明しよう!

ウィナーズカップとは?

- ★全選手を「マスターズ (28期生以前)」「ライジング (29期以降)」の2チームに分け
 - ★それぞれの間だけで初日予選~4日目準決勝までを戦い
 - ★最終日・優勝戦で初めてチーム上位4名ずつが相まみえる
- ...という、オートレース界随一の勝ち上がりシステムのもとで戦われる5日間なのだ!

マスターズ
Masters 2~28期

ライジング
29~34期 Rising

昨年同様、今回も28期生が最若年となるマスターズ組。その中心はSG全日本選抜での優出も記憶に新しい地元・伊藤信夫、そして同じく全日選優出プラス当地グレードレースに実績豊富な飯塚・荒尾聡か。通算1000勝にあと「2」と迫った前回覇者・木村武之も地元での達成に気合が入るところだろう。

ほか、この夏は浜松出走多かった有吉辰也や当地巧者中村雅人、佐々木啓ら遠征S級勢に加え、地元A級では近況上り調子の遠藤誠を筆頭に、柴田健治、鈴木静二らのスタート巧者に追い上げ鋭い松山茂靖、鈴木健吾も優出狙える位置に。

ベテラン組といえは鈴木章夫、鈴木辰己の地元両レジェンドレーサーの動きからも目が離せない。鈴木辰の超絶スタート、鈴木章のイン捌き共に近況冴え渡っており、GIIでも存在感は十分だ。

地元S2・鈴木圭一郎はSG全日本選抜では準決勝で痛恨のスタート失敗に泣いたが、エンジン・足周りともピークの出来であり、今回も優勝候補筆頭の座は揺るぎないところ。これを追うのは9月地元開催を優勝し復調急の金子大輔か。

更に地元注目は、後期全国ランクでS16位に大躍進を遂げた鈴木宏和。たとえ大外枠に置かれても、自慢のスタートダッシュを繰り出せば速攻展開可能だ。

スタートといえば川口の新鋭・黒川京介にも注目。こちら全日本選抜では連日の好スタートから優出を決め、得意とする浜松走路での活躍には大いに期待できよう。ほか、今期初のS級レーサーとなった藤波直也、車速上位の渡邊篤、山浦博幸、花田一輝、辰巳裕樹、鈴木一馬らも近況は好調が続き、勝手知ったる地元走路で勝ち上りを狙う。

開催中の選手情報は...
SNS「俺の話聞け!」にて

★facebook
『沢朋之の「俺の話聞け!」』で検索、
もしくはfb.me/orenohanashiまでアクセス

★Instagram
ログイン後、『沢朋之の「俺の話聞け!」』、
もしくはユーザーネーム sawanohanashi で検索

近況好調選手ピックアップ

マスターズ

■9/21~26 SG 全日本選抜 (飯塚)

(エンジン好調・良化選手)

伊藤信夫 木村武之 中村雅人 荒尾聡 浅香潤

(スタート好調・良化選手)

伊藤信夫 有吉辰也

■9/27~30 浜松普通開催

(エンジン好調・良化選手)

遠藤誠 小林悠樹 石貝武之 川端孝

(スタート好調・良化選手)

鈴木静二 鈴木辰己 石貝武之

ライジング

■9/21~26 SG 全日本選抜 (飯塚)

(エンジン好調・良化選手)

鈴木圭一郎 金子大輔 佐藤貴也 山浦博幸

黒川京介 佐藤摩弥 青木治親 早川清太郎

(スタート好調・良化選手)

藤波直也 鈴木宏和

■9/27~30 浜松普通開催

(エンジン好調・良化選手)

花田一輝 辰巳裕樹 鈴木一馬

深谷俊太 米里崇徳

(スタート好調・良化選手)

辰巳裕樹 鈴木一馬

浜松 LG 選手浜松良走路3連対率

■ 1着率 ■ 2着率 ■ 3着率

※GII ウィナーズカップ出場予定選手近1年データ

【データ活用法】各選手の1着率・2着率・3着率の偏りにご注目! 「この選手は何着を厚めに買えばいいのだろう」といった車券構築の最終段階にご活用ください。

マスターズ

ライジング

伊藤信夫 (S8) 75.7%

木村武之 (S10) 80.0%

青島正樹 (S26) 54.3%

笠木美孝 (S43) 51.6%

遠藤誠 (A6) 57.7%

浅田真吾 (A20) 53.5%

柴田健治 (A22) 69.4%

松山茂靖 (A29) 41.9%

鈴木静二 (A45) 59.1%

仲口武志 (A65) 47.2%

長谷晴久 (A80) 41.5%

小林悠樹 (A88) 52.0%

鈴木健吾 (A101) 49.1%

和田健吾 (A102) 55.8%

鈴木圭一郎 (S2) 94.6%

金子大輔 (S7) 66.7%

佐藤貴也 (S11) 64.7%

鈴木宏和 (S16) 60.0%

渡邊篤 (S32) 53.5%

岩科鮮太 (S35) 39.5%

藤波直也 (S42) 56.8%

中村友和 (A7) 55.6%

山浦博幸 (A12) 53.2%

花田一輝 (A20) 56.8%

辰巳裕樹 (A31) 56.1%

鈴木一馬 (A50) 63.9%

岡谷美由紀 (A59) 44.4%

落合巧 (A68) 38.5%

《データ解析》

今年の夏は地元でのレースが多かった浜松勢。出走数が多くなることにより、選手ごとの地元走路の得手不得手ははっきりと数字に現れてきた。他場に比べ浜松勝率の高い伊藤信夫、金子大輔らは、その地元では1着率が高く、「地元は

合わせやすい」と言う渡邊篤も高い1着率を誇る。ほか、他場よりも浜松3連率が高いのは木村武之、佐藤貴也、青島正樹、笠木美孝、遠藤誠、山浦博幸、松山茂靖、辰巳裕樹、小林悠樹、鈴木健吾…と数多く、「地元巧者」が増えつつある昨今か。

今回遠征 S 級勢の中で、5 場中浜松での勝率

が高めなのは中村雅人、黒川京介、荒尾聡、藤岡一樹ら。A 級にも目をやれば、川口勢に浜松勝率高め選手が多く、今夏も多く見られた「滑りの多い川口走路に比べ、浜松は食い付き良く乗りやすい」という現象がダイレクトに勝率に結びついた結果とみるが…。今節も川口勢の活躍には要注意だろう。